

令和3年度
事業報告書

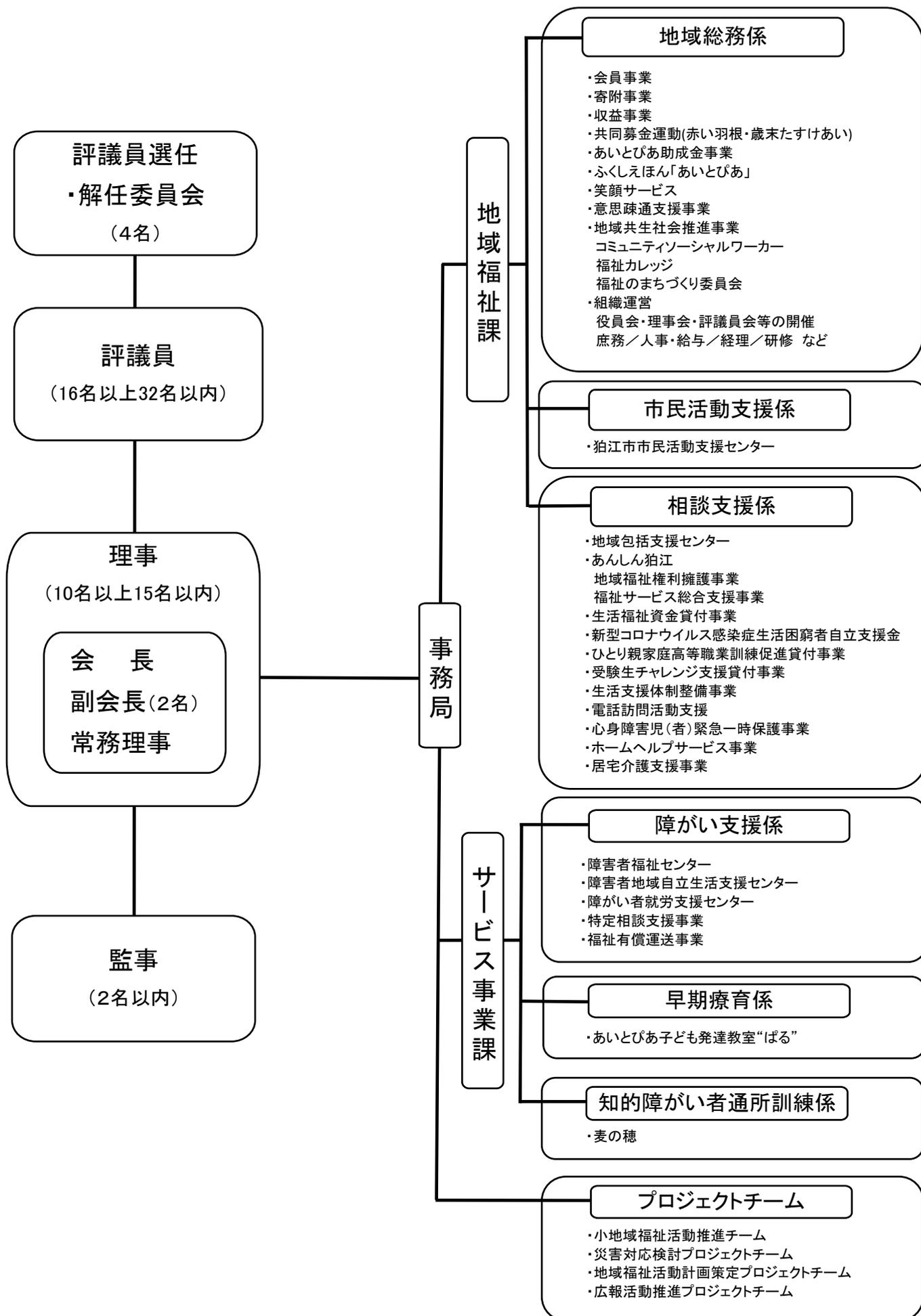
社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会

目次

■令和3年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会組織図	1
■令和3年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告	
総括	2
(新規事業)	
1 福祉有償運送事業	4
2 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	4
(重点事業)	
1 コミュニティソーシャルワーカーによる支援	5
2 福祉カレッジの開催	8
3 福祉のまちづくり委員会の設置	12
■令和3年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業実施報告	
(地域福祉課地域総務係)	
会員事業	13
寄附事業	13
収益事業	13
共同募金運動	13
あいとびあ助成金事業	14
ふくしえほん「あいとびあ」	14
笑顔サービス	14
意思疎通支援事業	15
地域共生社会推進事業	17
理事会等の開催	17
情報発信	17
労働安全衛生関係	17
(地域福祉課市民活動支援係)	
市民活動支援センターこまえくぼ1234	18
(地域福祉課相談支援係)	
地域包括支援センター	20
あんしん狛江	21
生活福祉資金貸付事業	22
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	22
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	22
受験生チャレンジ支援貸付事業	23
生活支援体制整備事業	23
電話訪問活動支援	23
心身障害児(者)緊急一時保護事業	23
ホームヘルプサービス事業	24
居宅介護支援事業	24
(サービス事業課障がい支援係)	
障害者福祉センター	25
障害者地域自立生活支援センター サポート	25
障がい者就労支援センター サポート	26
特定相談支援事業	28
福祉有償運送事業	28
(サービス事業課早期療育係)	
あいとびあ子ども発達教室“ぱる”	28
(サービス事業課知的障がい者通所訓練係)	
生活介護事業 麦の穂	29
(プロジェクトチーム等)	
小地域福祉活動の推進	31
災害時の対応	31
広報活動	31
(その他)	
狛江市社会福祉法人連絡会への参画	32

※事業報告書は、定款第39条に定める「事業報告の附属明細書」の内容を含んでいます。

令和3年度 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会 組織図



令和3年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告

令和3年度基本方針

令和3年4月に改正社会福祉法が施行され、市町村における包括的支援体制の整備として「断らない相談」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」が創設されます。

「断らない相談」は、縦割りの相談支援ではなく、多機関協働や伴走支援を行うことで相談体制を強化する支援であり、「参加支援」は、相談者のニーズに基づき既存の社会資源に働きかけるなど相談者と地域資源の間を取り持ち、相談者の社会とのつながりを回復していく支援とされています。「地域づくりに向けた支援」は、地域住民同士が出会い、参加することができる場や居場所の確保などを通して交流や参加の機会を作り出すコーディネート機能となります。

また、介護保険制度における地域包括ケアシステムの構築と深化により、地域福祉を進める基盤の整備も合わせて進んでいます。

このような社会情勢の中、狛江市社会福祉協議会では第3次地域福祉活動計画に基づき、地域支援を重点とした取組みを進めます。

一つ目の重点的な取組みであるコミュニティソーシャルワーカーによる支援については、2つの地区にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、個別支援及び地域支援を通して様々な関係者や関係機関と協働しながら、新たなサービスの提案や仕組みづくりに取り組みます。

二つ目の重点的な取組みである福祉カレッジの開催については、定期開催を通して新たな人材の掘起こしと育成、人材のネットワークを構築します。

三つ目の重点的な取組みである福祉のまちづくり委員会（仮称）の設置については、福祉カレッジで育成した人材を活かして準備委員会の設立を目指します。

また、市内の福祉有償運送事業を提供する NPO 法人が令和2年度をもって事業を終了することから、新たに身体の不自由な高齢者や障がい者等、単独で公共交通機関を利用しての外出が困難な方を対象に、福祉有償運送事業を開始します。

なお、コロナ禍の長期化により、高齢者、障がいのある方などをはじめ、多くの方が不安な気持ちで毎日を過ごすこととなり、ひきこもりがちな生活を余儀なくされています。また、地域の多様な支え合いの活動も、感染拡大防止のために活動内容によっては自粛や縮小を避けられない状況が続いています。各事業の実施に当たっては、感染対策を十分にとりつつも必要な方へ、必要な支援を行っていきます。

■ 総括

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染者数の増減が複数回繰り返され、当会においても感染拡大予防の取組みを実施しながら、事業展開を行う1年となりました。

そのような状況の中、住民同士が出会い、活動に参加することができる場や、居場所の確保など「地域支援」に重点を置き、第3次地域福祉活動計画に掲げる取組みを進め、一定の成果をあげることができました。

一つ目の重点的な取組みであるコミュニティソーシャルワーカーの配置に関しては、2つのエリアに配置したコミュニティソーシャルワーカーが地域団体や関係機関と協力し、あいとびあエリアとこまえ苑エリアを中心に地域支援を行いました。特にこまえ苑エリアにおいては、「生活基盤体操&交流会」の開催や「珈琲を通じて住民に癒しを届ける企画」等の新たな活動への地域支援を行うことができました。

二つ目の重点的な取組みである福祉カレッジの開催については、受講生に最新の福祉課題をリアルに感じてもらうために講師とカリキュラムを工夫して実施しました。加え

て、福祉のまちづくり委員会の立ち上げのための人材が不足していたエリアへの周知を集中させ、地域福祉活動に意欲的な受講生を集めることで、取組みが遅れていた福祉のまちづくり委員会の立ち上げに大きく寄与することができました。

三つ目の重点的な取組みである福祉のまちづくり委員会の設置に関しては、こまえ苑エリアの準備会としての活動を福祉のまちづくり委員会の活動として定着させることができました。他のエリアでも準備会としての活動が開始され、現在全てのエリアにおいて、福祉のまちづくり委員会としての立ち上げに向けた話し合いが継続されています。この福祉のまちづくり委員会の活動は、令和4年4月から狛江市で施行される「重層的支援体制整備事業」の中において、地域住民が地域課題を共有し解決を行うプラットフォームとして重要な役割を担うこととなります。

新規事業として単独で外出が難しい方を対象とした福祉有償運送事業については、新型コロナウイルスの感染拡大による外出控えの影響から、開始当初は利用者の確保が難しい状況でしたが、関係機関や団体への周知を積極的に実施することで、新規利用者を確保し、新たな運行体制を安定させることができました。

■ 新規事業

1 福祉有償運送事業

令和3年4月の事業開始時点では26名の利用登録でしたが、事業周知のためチラシ配りや介護保険サービス事業所、障がい福祉サービス事業所に対して事業説明を行った結果、令和4年3月時点で41名の利用登録まで増えました。

平均して63件/月の運行があり、利用内訳は、児童送迎（市内の特別支援学級に通う児童の自宅から学校までの送迎）が44%、障がい者の施設への送迎が32.2%、通院や余暇活動等が23.8%でした。

児童送迎を除くと、障がい者が施設や病院に行くため手段として福祉有償運送を利用することが多く、理由としては、「障がい特性から落ち着いていることができず、公共交通機関の利用が難しいため」、「障がい者施設は送迎サービスが無いことが多く、自力通所が困難であるため」ということがありました。改めて、障がい者にとっては移送サービスが日常生活を送る中で不可欠のものであり、福祉有償運送事業がその役割を担っていく必要があることがわかりました。

一方で、余暇活動で福祉有償運送事業を利用する方がほとんどおらず、利用目的を「主に余暇活動」として登録していた方も、「感染拡大が収束しないと、そもそも出かける機会がない」という理由から、利用につながらない現状も見られました。

2 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

国の生活困窮者への追加支援として、令和3年7月から「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」（給付金）の制度が開始されました。当会も狛江市から事業を受託し、新規申請の相談・受付業務を担いました。

本事業は、緊急小口資金等の特例貸付を終了した世帯や、再貸付について不承認とされた世帯等のうち、収入・資産・求職活動等の要件を満たす世帯が対象となります。特例貸付終了等の世帯へ案内を送付し、3月末までの9か月間で216件の申請を受付しました。

当会で申請受付をした後は、狛江市が審査を行い、審査決定後の求職活動の報告や相談支援等は自立支援相談機関こまYELLが行っています。

当初は8月末までの2か月間の予定でしたが、申請期限が延長され、令和4年度も継続して事業が行われています。

※支給月額：単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円

※支給期間：3か月（要件を満たす場合、3か月間の再支給が可能）

■重点事業

1 コミュニティソーシャルワーカーによる支援

配置4年目となった令和3年度は、個別支援の相談対応実数は131名延べ964件(令和2年度は85名、延べ888件)と増加しました。

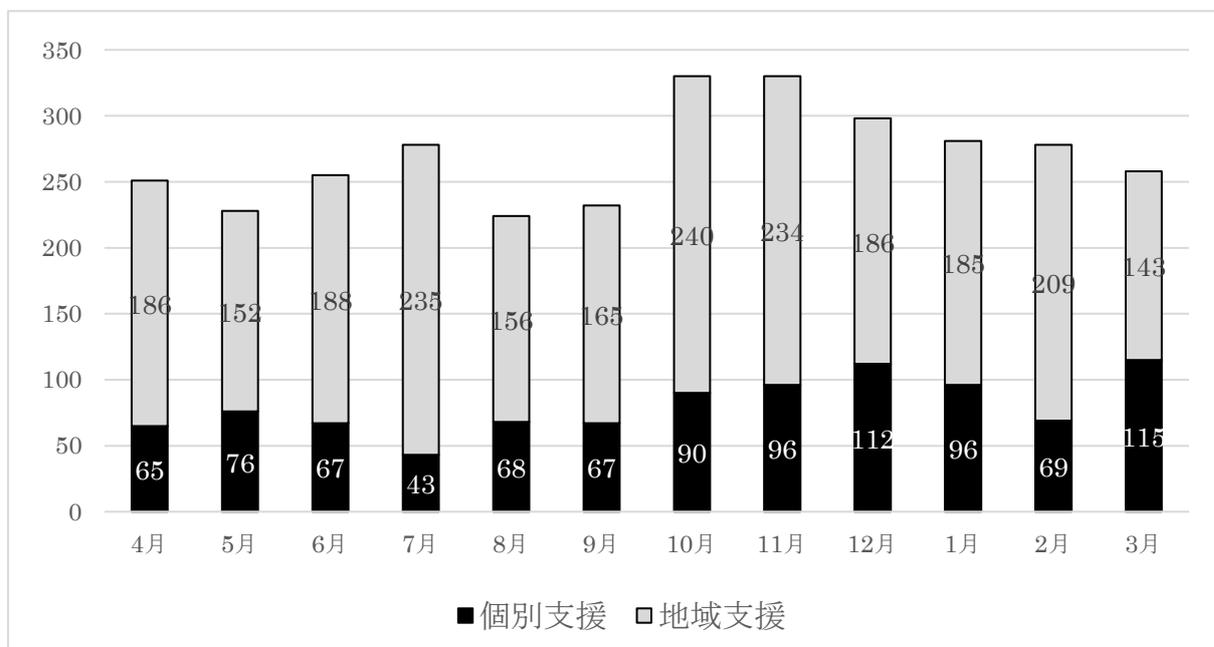
支援の対象としては、ひきこもり状態にある方や精神障がい者への支援が多くなっています。相談対応時の連携先は、子ども支援機関、地域包括支援センター、市役所の順でした。

地域支援の相談対応実数は44件、延べ2,279件(令和2年度は27件、延べ1,187件)と大幅に増加しました。

あいとぴあエリアでは、取組みを初めて3年目になるよしこさん家の企画協力の他、20～30歳代の若者向けの居場所タルトタタンの立ち上げ支援を行いました。

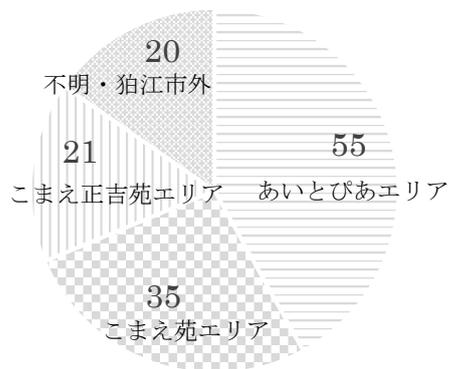
こまえ苑エリアでは、岩戸北地域の住民を対象とした体操と交流の場「生活基盤体操&交流会」の開催や、珈琲焙煎店の協力により珈琲を通じて住民に癒しを届ける企画等を行いました。また令和3年3月から運用を開始した有償おてっだいサービスCare&Cureの立ち上げ支援のほか、市内で高齢者の困りごとに取り組む方々を繋ぐ情報交換会(※)を令和4年3月に初めて行いました。※生活支援コーディネーターと協働にて実施。

【令和3年度の個別支援と地域支援の割合の推移 ※延べ件数(件)】

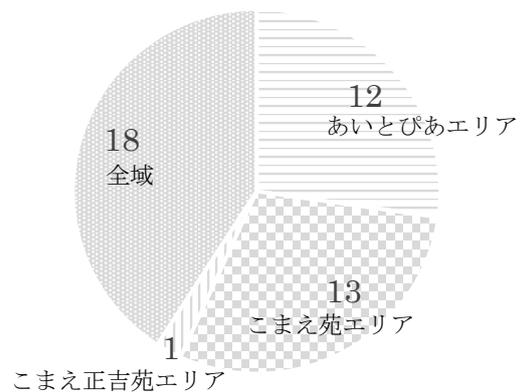


※個別支援とは、公的なサービスや地域の支援だけでは解決しきれないニーズや課題を受け止め、対象者に寄り添いながら解決に向けた支援をすること。地域支援とは、地域の関係機関や団体と連携・協力とそのネットワーク化を図りながら、地域の課題解決力を向上させること。

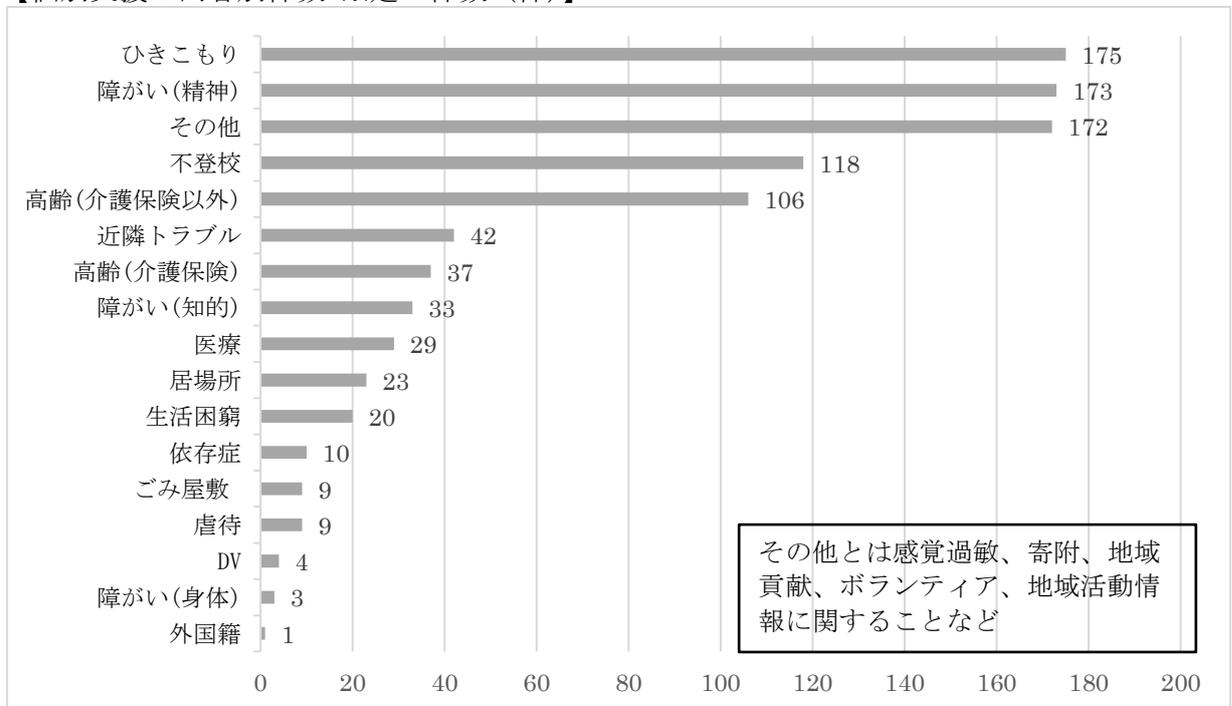
【エリア別個別支援数 ※実人数（人）】



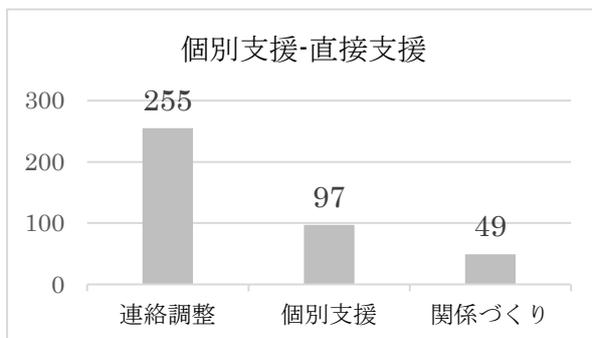
【エリア別地域支援数 ※実件数（件）】



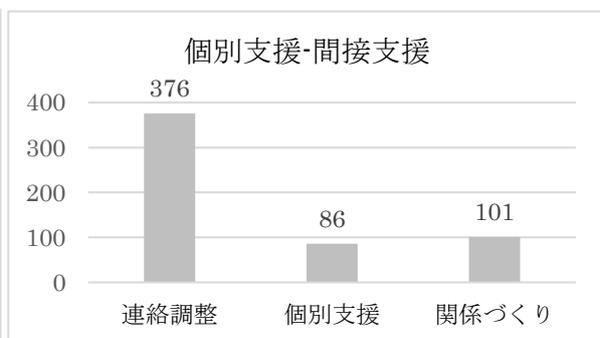
【個別支援の内容別件数 ※延べ件数（件）】



【支援方法内訳 ※延べ件数（件）】



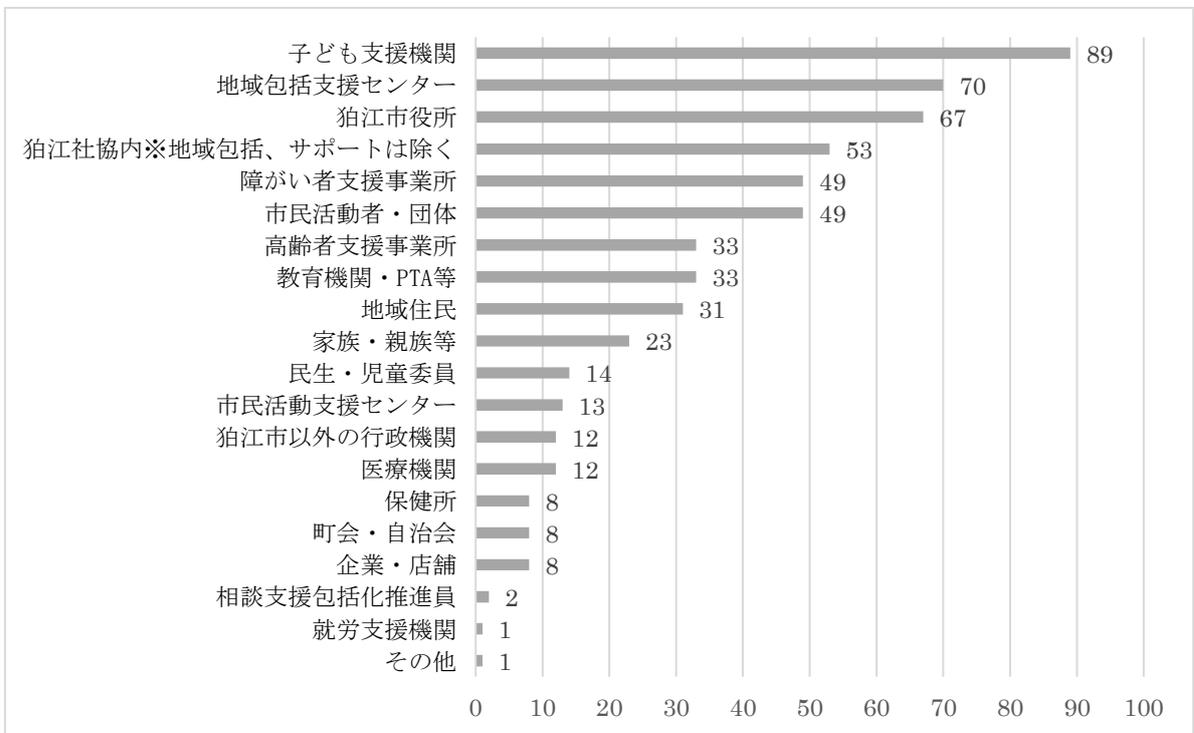
※直接支援とは直接当事者に関わる支援のこと。



※間接支援とは当事者のために他の機関や団体等と相談したり調整すること。



【連携している関係機関と連携件数 ※延べ件数（件）】



2 福祉カレッジの開催

令和3年度の福祉カレッジは、定員15名に対し13名の申し込みがあり、全員が修了しました。カリキュラムも、制度の概論を講義するような内容だけではなく、市民活動で活躍されている方や当事者の方を講師に、体験談なども踏まえた実践的なものとなりました。

コロナ禍での開催でしたが、受講生同士の交流・関係づくりのため、感染防止対策を図りながら対面で開催し、その成果として福祉カレッジ修了後の地域活動にも繋がっています。

【福祉カレッジ2021カリキュラム】

回	日にち	内容	講師
1	9月4日	・オリエンテーション ・受講生同士の交流	福祉カレッジ修了生 大山 貴史氏 福祉カレッジ修了生 富田 美津子氏
2	9月11日	・社会福祉協議会の概要・災害時の取り組み ・これからの地域福祉とまちづくり	狛江市社会福祉協議会 地域総務係 大塚 隆人 法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科 宮城 孝氏
3	9月25日	・地域包括支援センターの概要 ・コロナ禍における狛江市の高齢者支援の現状	社会福祉法人正吉福祉会 地域包括支援センターこまえ正吉苑 大井 剛氏
4	10月2日	・高齢者を対象とした地域活動について ・介護経験者のお話	NPO 法人狛江共生の家 河西 信美氏 介護経験者 鈴木 正美氏
5	10月9日	・障がい当事者の方からのお話	社会福祉法人もくば会 八王子地域生活支援室高尾 相談支援専門員 高江洲 幸男氏
6	10月23日	・コロナ禍での生活困窮者支援について ・地域活動団体からのお話	狛江市自立相談支援事業 こま YELL NPO 法人フードバンク狛江 田中 妙幸氏 ごはん+居場所 おかえり 宮川 裕子氏
7	10月30日	・狛江市における子育て支援の現状 ・子育て世帯を対象とした地域	狛江市子ども家庭支援センター 宮内 友紀氏 有償保育ボランティア「HIPPO」

		活動について	宍戸 裕子氏
8	11月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用した多世代交流の居場所 ・狛江市市民活動支援センターの概要、ボランティア・市民活動について 	comarch 梶川 朋氏 よしこさん家 増村 聖智子氏 狛江市市民活動支援センター こまえくぼ 1234 大山 寛人
9	11月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の役割 ・私がまちづくり活動でやってみたいチラシの素づくり(グループワーク) 	狛江市社会福祉協議会 CSW(コミュニティソーシャルワーカー) 岸 真・野木 遼太 場所づくり研究所(有)プレイス 宮地 成子氏
10	12月4日	講義を通じ関心のある分野についての発表	

【福祉カレッジ 2021 の様子】



受講生アンケートの結果(回収率 90%)

(1) 高齢分野

評 価	
4 満足	9
3 やや満足	2
2 やや不満	1
1 不満	0
未回答	0

会 場

評 価	
ア 参加しやすい	11
イ どちらでもない	1
ウ 他会場がよかった	0
未回答	0

(2) 障がい分野

評 価	
4 満足	11
3 やや満足	0
2 やや不満	1
1 不満	0
未回答	0

曜 日

評 価	
ア 参加しやすい	10
イ どちらでもない	1
ウ 他曜日希望	0
未回答	1

(3) 生活困窮分野

評 価	
4 満足	6
3 やや満足	4
2 やや不満	1
1 不満	0
未回答	1

時間帯

評 価	
ア 参加しやすい	9
イ どちらでもない	2
ウ 他時間帯希望	1
未回答	0

(4) 子ども分野

評 価	
4 満足	6
3 やや満足	1
2 やや不満	3
1 不満	0
未回答	2

受講料

評 価	
ア 安い	3
イ 適当	9
ウ 高い	0
未回答	0

(5) 地域活動分野

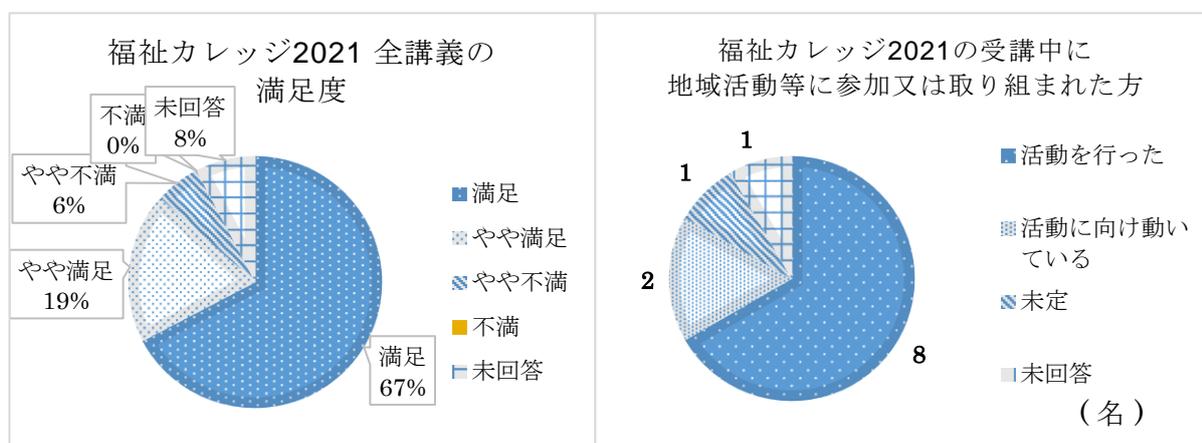
評 価	
4 満足	8
3 やや満足	3
2 やや不満	0
1 不満	0
未回答	1

受講前と受講後で、変わった点

評 価	
ア 変わった	12
イ どちらでもない	0
ウ 特に変わっていない	0
未回答	0

福祉カレッジ2021の受講中に地域活動等に参加又は取り組まれた方	
活動を行った	8
活動に向け動いている	2
未定	1
未回答	1

福祉カレッジ2021の受講中に応募又は参加、取り組まれた活動について	
こまYELLの学習支援ボランティア	総合防災訓練への参加
狛江市介護保険推進市民協議会への応募	法人施設等への見学
あいとびあエリア 車座トークへの参加	笑顔サービス 協力会員
福祉有償運送 添乗ボランティア	社協会員への登録



「変わった」と答えた方は、どのような点で変化がありましたか

- ・ボランティア等に関する意識や考えがより身近なものになった。
- ・市内には思っていた以上の活動や取組みがあり、皆さまの活動に頭が下がった。すべてを把握し実行に移すのはまだまだだが、意識して取り組みたい気持ちは芽生えた。すでに活動されている1期生の方や4期生の皆さまと情報交換しながら、地域において自分に何ができるのか探っていくと思う。
- ・ネットでも、紙媒体でも、福祉関係の記事をよく読むようになった。
- ・福祉の意味、意義がより明確になったと思う。
- ・市内の福祉状況が少しずつ分かってきた(空き家が目につくようになった)。
- ・狛江の福祉活動を具体的に知る機会ができ、視野が広がった。また、メンバーの皆さまと交流することで、広い価値観を見つけられそう。
- ・意識が高まったことは間違いない。その一方で、市民が参加する取り組みは、「もう少し幅広くても良いのかな」とも思った。
- ・福祉分野での活躍の場が見つかった。
- ・“知ること”が出来たことが本当に良かった。また自分は地域の中でどのような役割が出来たらどうかと考えるようになった。
- ・日常的に福祉関係の情報に目が向くようになったことが大きい。
- ・街中で困っている人を見たとき、ためらわずに声をかけることができそう。

3 福祉のまちづくり委員会の設置

身近な生活圏域の中で、地域住民や地域の様々な団体等が自ら地域の課題に気づき、共有し、共にその解決に取り組む仕組みとして、福祉のまちづくり委員会を地区ごとに設置しています。

構成員は福祉カレッジの修了生の有志で、必要に応じて扱う課題に関連する専門職や関係者も関わり地域課題の解決に取り組んでいます。

定期的開催する委員会では、地域課題の洗い出しを中心としたグループワークを行い、課題解決の方法を模索しています。

会の名称、立上げ時期	メンバー、取組み
<こまえ苑エリア> 令和3年8月～ 福祉のまちづくり委員会 ～いこいねっと～	民生・児童委員、地域福祉推進委員会会長、地域包括支援センター職員、PTA、市民活動者など10名が参加。地域課題の討議を4回実施。その他防災スマホ教室を2日間主催したり、狛江市安心安全課との協議を実施した。
<あいとびあエリア> 令和4年1月～ 福祉のまちづくり委員会 ～和泉手つなぎ会～	民生・児童委員、市民活動者、福祉事業所職員など8名が参加。会の立上げにあたり運営に関する取り決めを行い、地域課題の討議を3回実施した。
<こまえ正吉苑エリア> 令和4年1月～ ※名称未定	市民活動者、福祉事業所職員、教育関係者など9名が参加。会の立上げにあたり運営に関する取り決めを行ったり、地域課題の討議を3回、まち歩きを1回実施した。

<こまえ苑エリア>いこいねっとの様子



<こまえ苑エリア>
いこいねっと主催スマホ教室の様子



<あいとびあエリア>和泉手つなぎ会の様子



こまえ正吉苑エリアの様子



令和3年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業実施報告

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や縮小を余儀なくされた事業がありました。また、一部の会議や講習会等では、書面やオンライン等による形式で実施しました。

課・係	事業内容	【 】は令和2年度実績
地域福祉課地域総務係		
会員事業		
①社会福祉協議会会員制度		
○会費収入	2,958,000円	【2,725,000円】
※1,000円単位で任意の増額あり		
・つつじ会員（1口 1,000円）	1,759件	【1,884件】
・いちよう会員（1口10,000円）	69件	【58件】
・さくら会員（1口 30,000円）	10件	【6件】
○会員増強月間の取組（7月）		
・協力委員による個別訪問の実施		
・前年度会員等へのダイレクトメール送付		
・社協だより188号での入会案内（振込用紙の添付）（7/4 45,000部）		
・市内掲示板へのポスター掲示		
・地域センター等へのパンフレット配架		
②会員制度協賛店事業		
○協賛店登録数	67店	【68店】
○協賛店紹介サイトの運用		
寄附事業		
○一般寄附金（物品寄附を含む）	66件 908,390円	【36件 57,782,687円】
○指定寄附金		
・あいとぴあ基金	2件 10,916円	【2件 6,340円】
・誕生日募金	2件 30,000円	【3件 50,000円】
・その他の指定寄附金収入	18件 106,876円	【6件 35,000円】
※あいとぴあ基金積立金累計額（令和4年3月末）98,982,976円【98,933,343円】		
収益事業		
①こまちゃんタオルハンカチの販売 27枚【24枚】 （クリーム4枚、ライトピンク11枚、ピンク12枚、ブルー0枚）		
②こまちゃんTシャツの販売 1枚【0枚】		
③社協だよりへの広告掲載 2枠【4枠】		
④ホームページへの広告掲載 1件【1件】		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）		
地域福祉の推進を目的とする「共同募金」の一環として次の運動を実施した。		
①赤い羽根共同募金運動（10/1～10/31）		
募金総額	596,625円	【316,919円】
※東京都共同募金会狛江地区協力会として実施		

地域福祉課地域総務係

笑顔サービス

②説明会・研修等

- 協力会員募集説明会 9回【6回】
- 協力会員新任研修 6回【5回】
- 協力会員現任研修 2回【2回】
 - ・明日も「え・が・お」でサービスを コロナ禍のセルフケアを学ぶ
(10/25) 参加者 10名
講師 渡辺浩子氏（ウェルネスコーディネーター）
 - ・スマホを使ってみましょう
スマホ未所持者編（2/16） 参加者 4名
スマホ所持者編（2/17） 参加者 9名
講師 エムジー株式会社：石川氏・伊藤氏



利用会員への対応を想定したスマートフォン操作の研修

③事業の周知

- 協力会員募集ポスターの掲示・チラシの設置
こまえくぼ1234、地域センター、公民館、市民総合体育館、イトーヨーカドー国領店
OKストア中和泉店 9回【7回】
- 協力会員募集チラシ新聞折込の実施 0回【1回】
- 社協だより掲載 全戸配布
- 市内転入者へのチラシ配布 3,000部
- 公式ツイッターによる情報発信 0回【1回】

<訪問型サービスB> ※市委託

サービス実績等

- 利用者登録数 7名【7名】
- 活動者登録数 78名【83名】
- ※笑顔サービス協力会員と重複
- 新規利用相談（問合せ含む） 1件【2件】
- サービス提供件数 441件【398件】

意思疎通支援事業 ※市委託

①通訳者の派遣

- 派遣件数
 - 手話通訳 465件（うち33件は事業内派遣）【426件】
 - 要約筆記 28件（うち26件は事業内派遣）【18件】
- 登録通訳者
 - 手話通訳 25名【28名】
 - 要約筆記 29名【31名】
 （うち11名は手書きのみ、10名はPCのみ、8名は手書き・PC両方）

②運営・スタッフ会議

- 手話運営委員会 6回【6回】
- 手話講習会スタッフ会議 3回【3回】
- 要約筆記運営委員会 6回【5回】
- 要約筆記講習会スタッフ会議 4回【1回】

課・係	事業内容	【 】は令和2年度実績
<p>地域福祉課地域総務係</p> <p>意思疎通支援事業 ※市委託</p> <p>③通訳者研修</p> <p>○手話通訳者研修会 9回【6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6/18 オンライン (Zoom) 講師 矢野朱美氏 (東京手話通訳等派遣センター) ・ 7/16 オンライン (Zoom) 講師 中島純子氏 (東京手話通訳等派遣センター) ・ 8/27 オンライン (Zoom) 講師 落合和代氏 (東京手話通訳等派遣センター) ・ 9/27 あいとぴあセンター 講師 北田美千代氏 (東京手話通訳等派遣センター) ・ 10/19 あいとぴあセンター 講師 渡邊早苗氏 (東京手話通訳等派遣センター) ・ 11/29 あいとぴあセンター 講師 飛山将紀氏 (東京手話通訳等派遣センター) ・ 12/20 あいとぴあセンター 講師 高井洋氏 (東京手話通訳等派遣センター) ・ 2/28 オンライン (Zoom) 講師 朝倉靖裕氏 (東京手話通訳等派遣センター) ・ 2/28 あいとぴあセンター 講師 佐伯富美子氏 (東京手話通訳等派遣センター) <p>○要約筆記者研修会 8回【5回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/17 オンライン (Zoom) 講師 三井恵玲奈氏 (全国文字通訳研究会) ・ 10/2 オンライン (Zoom) 講師 三井恵玲奈氏 (全国文字通訳研究会) ・ 10/15 あいとぴあセンター 講師 長尾康子氏 (全国要約筆記問題研究会) ・ 11/19 あいとぴあセンター 自主研修 ・ 12/17 あいとぴあセンター 講師 狛江市社会福祉協議会 職員 ・ 1/21 オンライン (Zoom) 講師 佐藤久美子氏 (東京手話通訳等派遣センター) ・ 2/5 オンライン (Zoom) 講師 上林玲子氏 (RoiS株式会社) ・ 2/18 あいとぴあセンター 講師 長尾康子氏 (全国要約筆記問題研究会) <p>④通訳者養成講習</p> <p>○手話講習会 ※令和2年度は中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初級コース 受講生 11名 修了生 11名【申込者 16名 修了生 0名】 ・ 中級コース 受講生 5名 修了生 5名【申込者 12名 修了生 0名】 ・ 上級コース 受講生 5名 修了生 5名【申込者 12名 修了生 0名】 ・ 養成コース ※養成コースは過去の修了者を受け入れて実施。 受講生 6名 修了生 5名【申込者 10名 修了生 0名】 <p>○手話入門講座 ※令和2年度は中止 全5回【0回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講生 8名【0名】 <p>○手話通訳者全国統一試験フォローアップ講座 ※令和3年度より開講 全5回【令和3年度新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講生 4名【令和3年度新規】 <p>○要約筆記講習会<パソコン要約筆記講習会> ※令和2年度は中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講生 2名 修了生 2名【申込者 1名 修了生 0名】 <p>○要約筆記講習会フォローアップ研修<パソコン要約筆記> ※令和2年度は中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講生 2名 修了生 2名【0名】 		

課・係	事業内容	【 】は令和2年度実績
地域福祉課地域総務係		
地域共生社会推進事業 ※市委託		
<p>①コミュニティソーシャルワーカーの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別支援 相談対応実数131名、相談対応延べ数964回 【85名 888回】 ○地域支援 相談対応実数44件、相談対応延べ数2,279回 【27件 1,187回】 ○スーパービジョン 1回 【0回】 <p>②福祉カレッジの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日程 9/4～12/4 各回土曜 全10回 14時～16時 ○会場 あいとぴあセンター, 西河原公民館 ○内容 オリエンテーション、高齢、障がい、子ども、生活困窮、多世代交流など 全10回の講座を実施(一部映像配信にて実施) ○受講生 13名 【16名】 ○修了生 13名 【14名】 <p>③福祉のまちづくり委員会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こまえ苑エリア 福祉のまちづくり委員会いこいねっと(令和3年8月から開始) 定例会4回開催、世話人会4回、その他活動4回 ○あいとぴあエリア 福祉のまちづくり委員会和泉手つなぎ会(令和4年1月から開始) 定例会2回開催 ○こまえ正吉苑エリア 名称未定(令和4年1月から開始) 定例会3回開催 		
理事会等の開催		
<ul style="list-style-type: none"> ○役員会 3回 【0回】 ○理事会 4回 (うち1回は書面開催) 【3回 (うち1回は書面開催)】 ○評議員会 3回 (うち1回は書面開催) 【3回 (うち1回は書面開催)】 ○監査 1回 【1回】 		
情報発信		
<p>①ホームページの運用</p> <p>アクセス数 61,885件 【69,976件】</p> <p>②ツイッターの運用</p> <p>ツイッターフォロワー数 (令和4年3月末) 598件 【426件】</p> <p>③広報紙「社協だより」の発行</p> <p>新聞折込3回 (No187、189、190) 1号当たりの発行部数 25,000部 【4回 25,000部】</p> <p>全戸配布1回 (No.188) 1号当たりの発行部数 45,000部 【0回】</p>		
労働安全衛生関係		
<ul style="list-style-type: none"> ○衛生委員会の開催 12回 【11回】 ○産業医 加藤一彦氏 (かとうクリニック) 		

地域福祉課市民活動支援係

市民活動支援センターこまえくぼ1234

- ①相談機能
 - 新規相談件数 239件（個人78件、団体161件） 【258件】
 - <内訳>
 - ・新規活動相談 40件
 - ・団体運営に関すること（助成金関係含む） 31件
 - ・情報収集 68件
 - ・情報発信 37件
 - ・ボランティア・講師等の依頼、問合せ 21件
 - ・寄付・寄贈 10件
 - ・その他 32件
 - 専門相談
 - ・専門相談会 0回【2回】
- ②拠点機能（市民及び市民活動団体への支援）
 - 4/25～6/20まで臨時休館。4/12～24、6/21～10/24、1/21～3/21まで入館人数20名に制限。
 - 来館者数 4,167人 【3,031人】
 - 回収活動の推進
 - 使用済みの切手を回収し市民活動の推進のために活用している。
 - ・切手カフェ 全15回 参加者 延92名【全7回 延34名】
 - 回収された使用済み切手を整理するボランティアを出入り自由のカフェ形式で実施
 - ・おうちで切手ボランティア（6/1～7/31） 参加者 延24名【延4名】
 - ボランティア保険・行事保険加入取りまとめ
 - ・ボランティア保険加入件数 1,844件【1,779件】
 - ・行事用保険加入件数 114件【64件】
 - フリースペースの登録団体優先利用
 - ・イベント利用 19件【4件】
 - ・展示利用 2件【1件】
 - 登録団体・登録者数 団体 221団体 個人 116名【190団体 個人98名】
 - （内 社会貢献事業所登録 39件）
- ③情報収集・発信機能
 - 情報紙「えくぼ」の発行 第53号（令和3年3月発行）で終了 【各号4,000部】
 - ※ボランティアによる発送準備、配布協力
 - 広報紙「こまえくぼ1234」（1～10号）の発行 各号4,000部発行（うち4回は9,500部）
 - ※ボランティアによる発送準備、配布協力
 - 広報誌「こまえがお」の発行
 - 市民のボランティアからなる広報部会において編集・作成
 - ・市民活動情報紙わっこに「こまえがおmini」として掲載 4回
 - ・広報紙「こまえくぼ1234」に掲載 4回（13～16号）【年2回】
 - コマラジ番組出演での情報発信
 - ・番組名：KOMAE AM フライデーアートサーカス（毎週金曜日8：00～11：00放送）
 - ・番組内コーナー（狛江・生活情報コーナー）で市民活動団体を紹介
 - 市民活動支援センター出演 12回 【5回】
 - 市民活動支援センター専門部会等出演 3回 【1回】
 - 市民活動団体出演 23団体 【10団体】

地域福祉課市民活動支援係

市民活動支援センターこまえくぼ1234

- ホームページ・SNSの活用
 - ・ホームページ管理 アクセス数 124,165件【100,634件】
 - ・在宅入力ボランティア 11名【23名】
 - ・投稿サポーター 7名【6名】
 - ・登録団体の記事投稿数 231件【168件】

- ④交流・人材養成・研修機能
 - 参加と協働市民推進フォーラム（狛江市市民参加と市民協働に関する審議会・狛江市共催）
「第6回狛江☆サミット～私のスキルを生かせるボランティアってなんだろう（1/23）」中止
 - 夏の体験ボランティア事業
 - 「夏にはじめるちょこっとボランティア・地域活動体験」 参加者 52名【中止】
 - ・初めてのプログラミング体験 参加者 10名
 - ・見えない人の世界を知ろう、狛江の点字探索と作成体験 参加者 5名
 - ・聞こえない人とZoomでおしゃべりしてみよう 参加者 14名
 - ・力を合わせて狛江の街を花で盛り上げよう 参加者 23名
 - 体験ボランティア事業
 - ・点字メニューを作ろう 夏の体験ボランティアとして実施 参加者 5名【9名】
 - 日本語学習支援協力
 - ・参加者数 34名【令和3年度新規】
 - ・非支援者 13名【令和3年度新規】
 - ・支援学校名 第三小学校、第五小学校、緑野小学校、第一中学校、第二中学校
 - 保育園・幼稚園との連携
 - 体験・見学等の体験学習実施 8件【5件】
 - 小中学校との連携
 - 体験・見学等の体験学習実施 7件【2件】
 - 地域との連携
 - 体験学習の動画活用（子ども議会ワークショップ） 1件【1件】

- ⑤ネットワーク・マッチング
 - 団体向け講座
 - ・「市民に届け！工夫をしながら届ける私たちの市民活動1」（10/4） 参加者 2団体2名
 - ・「市民に届け！工夫をしながら届ける私たちの市民活動2」（12/10） 参加者 3団体4名
 - ・「団体の未来を考えるプランを作ろう」（3/3） 延期
 - ごはんと居場所連絡会の支援 会議6回【会議6回】
 - 視覚障がい者関連団体連絡会（オレンジ会） 会議0回【会議1回】
 - 北多摩南部ブロック5市ボランティア・市民活動センター共催事業
 - ・共催事業「3.11ユースダイアログ」（12/12）

- ⑥関係機関との連携
 - 介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会 3回【4回】
 - 共同研究
 - 東京ボランティア・市民活動センター市民学習コーディネーター推進事業共同研究
 - 市民学習コーディネーター会議 4回【3回】
 - 市民社会をつくるボランタリーフォーラムTokyo2022（2/12）事例発表
 - 狛江市地域学校協働活動推進委員会 2回【1回】

地域福祉課市民活動支援係

市民活動支援センターこまえくぼ1234

⑦その他

○運営委員会 4回【3回】

○専門部会

・広報部会 ※センターが発行する広報誌「こまえがお」の編集を行う専門部会

活動者 6名【7名】

編集会議 9回【14回】

・ホームページ部会 ※センターのホームページの活用を推進していくための専門部会

活動者4名【5名】

会議 10回【7回】

ホームページ利用勉強会（10/14） 参加者 9団体9名【8団体9名】

ホームページフォローアップ勉強会（12/6） 参加者 1団体2名

・体験学習部会 ※体験学習プログラムを検討し推進していく専門部会

活動者9名【7名】

会議12回（夏休みイベントを含む）【15回】

○活動場所情報掲載の打ち合わせ 0回【2回】

○開設5周年記念イベント

10/24、10/30、11/20、11/21 参加者 延約3,000人

○開設5周年記念イベント実行委員会 8回【1回】



多くの参加者で賑わう5周年イベント

地域福祉課相談支援係

地域包括支援センター ※市委託

○総合相談件数 延 5,774件【3,959件】

うちエリア外対応 延 18件【35件】

○新規相談件数 延 304件【159件】

○月平均介護予防給付管理数 124件【121件】（自社作成分）

7件【5件】（居宅委託分）

月平均介護予防ケアマネジメント数 89件【82件】（自社作成分）

5件【5件】（居宅委託分）

○虐待対応 実件数 9件 対応数 61件【実件数19件 対応数132件】

○権利擁護 実件数 11件 対応数 400件【実件数48件 対応数272件】

※成年後見申し立て支援、消費者被害対応、困難事例対応（サービス拒否、多問題家族、経済的困窮等）を含む。

○介護予防普及啓発事業 36回【35回】

内訳 運動30回【29回】（あいとぴあセンター、西和泉二棟集会室、多摩川住宅イ号棟 集会所）

ウォーキング講座6回【6回】

地域福祉課相談支援係

地域包括支援センター ※市委託

○認知症カフェ (KOMA CAFE+)	1回【令和3年度新規】
○認知症サポーター養成講座	2回【2回】
○介護者の集い	11回【9回】
○ケアマネジャー支援	延 297件【延202件】
○民生委員との懇親会・定例会	1回【1回】
○家族介護者支援事業	2回【1回】
○実習生受入 (慈恵第三看護専門学校)	0名【0名】
○実習生受入 (慈恵医大看護学科)	4名【4名】
○地域ケア会議 (個別ケア会議)	1件【1件】



KOMA CAFE+の様子

あんしん泊江 ※東社協委託・市委託

地域福祉権利擁護事業 ※東社協委託

①専門員配置数	2名【2名】
②生活支援員登録者数	14名【12名】
③契約者数 新規契約件数	10件【9件】
解約件数	7件【9件】
契約件数 (3月末)	59件【56件】
④相談件数 (問い合わせ・継続相談等)	2,859件【2,558件】
⑤契約に基づく支援件数	1,294件【1,196件】

福祉サービス総合支援事業 ※泊江市委託

①業務担当者配置数	1名【1名】
②利用者サポート事業	
○福祉サービスの利用に際しての苦情対応	2件【0件】
○成年後見制度の利用相談	1,515件【1,951件】
※うち273件は申立支援相談件【336件】※実人数57名【35名】	
○その他福祉サービスに関する専門的な相談	133件【286件】
③福祉サービス利用援助事業	
○対象拡大契約件数	4件【4件】
○対象拡大支援件数	56件【34件】
○減免対象者の支援件数	58件【54件】
④苦情対応専門相談の設置	
○弁護士による専門相談	18件【19件】
⑤あんしん泊江運営委員会	3回【3回】

地域福祉課相談支援係

生活福祉資金貸付事業 ※東社協委託

<生活福祉資金>

①相談件数	265件	【266件】		
○新規貸付相談	21件	【17件】		
○継続貸付相談	161件	【160件】		
○償還関係	79件	【88件】		
○その他	4件	【1件】		
②貸付決定件数・金額	0件	0円	【1件	1,410,000円】
○福祉資金	0件	0円	【1件	1,410,000円】
・福祉費	0件	0円	【0件	0円】
・教育支援資金	0件	0円	【1件	1,410,000円】
・緊急小口資金	0件	0円	【0件	0円】
○総合支援資金	0件	0円	【0件	0円】
・生活支援費	0件	0円	【0件	0円】
・住宅入居費	0件	0円	【0件	0円】
・一時生活再建費	0件	0円	【0件	0円】
○要保護向け不動産担保型生活資金	0件	0円	【0件	0円】

<新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付>

①相談件数	2,671件	【5,403件】
②貸付申請件数		
○緊急小口資金（特例貸付）	344件	【1,067件】
○総合支援資金（特例貸付）	324件	【776件】
○総合支援資金（特例貸付）延長貸付	124件	【475件】 ※令和3年6月末受付終了
○総合支援資金（特例貸付）再貸付	349件	【383件】 ※令和3年12月末受付終了
合計	1,141件	【2,701件】

※貸付金額

- ・緊急小口資金（特例貸付） 20万円以内
- ・総合支援資金（特例貸付） （二人以上世帯）月20万円以内 （単身世帯）月15万円以内
初回3月以内 延長3月以内 再貸付3月以内

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 ※狛江市委託（令和3年7月1日開始）

①相談件数	1,304件	【令和3年度新規】
○新規相談	400件	【令和3年度新規】
○継続相談	904件	【令和3年度新規】
②申請件数	216件	【令和3年度新規】

ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 ※東社協委託

貸付決定件数及び決定額の内訳

○入学準備金	0件	0円	【0件	0円】
○就学準備金	0件	0円	【0件	0円】
○住宅支援資金	1件	444,200円	【令和3年度新規】	※令和3年12月からの新規事業
合計	1件	444,200円	【0件	0円】

地域福祉課相談支援係

受験生チャレンジ支援貸付事業 ※市委託

①相談件数	385件	【413件】
○新規貸付相談	34件	【33件】
○継続貸付相談	295件	【327件】
○償還相談	56件	【53件】
②貸付決定件数及び決定額	39件	4,500,800円 【52件 54,219,000円】
○塾代	19件	3,735,100円 【24件 4,605,500円】
○受験料	20件	765,700円 【28件 816,400円】
③事業の周知		
○市内の学習塾へパンフレット配布等	20校	【19校】
○都営粕江アパートへのチラシの掲示	1回	【1回】
○市報への掲載	1回	【1回】
○社協だよりへの掲載	1回	【1回】
○公民館・地域センターへのチラシの設置		
○社協ホームページへの掲載		

生活支援体制整備事業 ※市委託

①生活支援コーディネーターの配置	1名	【1名】
②社会資源訪問調査	93件	【106件】
③関係機関への周知・情報交換	389件	【211件】
④他市見学・情報交換	5件	【0件】
⑤個別相談	8件	【5件】
⑥研修への参加	7回	【3回】
⑦地域課題検討会議幹事会	4回	【令和3年度新規】
⑧地域課題検討会議及び生活支援体制整備協議会	1回	【1回】
⑨介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会	4回	【5回】

電話訪問活動支援 ※「粕江電話訪問はとの会」が行う、高齢者見守り活動を支援

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の状況を考慮し、電話訪問活動を一定期間休止した。また、公開講座（年1回実施）も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施しなかった。

心身障害児（者）緊急一時保護事業 ※市委託

○実施件数		144件 【191件】
介護形態別内訳	登録介護人によるもの	143件 【181件】
	協力施設によるもの	1件 【10件】
○利用登録者		63名 【59名】
障がい別内訳	身体障がい	9名 【9名】
	知的障がい	33名 【30名】
	精神障がい	3名 【3名】
	重複障がい	18名 【17名】
	難病	0名 【0名】
○登録介護人		46名 【44名】

サービス事業課障がい支援係

障害者地域自立生活支援センター サポート ※市委託

④上手いもの市

- 上手いもの市 1回（2日間） 出店8団体【1回（2日間） 出店8団体】
- 上手いもの市実行委員会 4回【5回】



狛江駅で開催した上手いもの市

⑤狛江市地域自立支援協議会への参画

- 狛江市地域自立支援協議会 全体会 3回【2回】
- 狛江市地域自立支援協議会 定例会 4回【2回】
- 狛江市地域自立支援協議会 当事者部会役員会 5回【8回】
- 狛江市地域自立支援協議会 当事者部会 イベント 1回【1回】

障がい者就労支援センター サポート ※市委託

①就労支援登録者 187名（就労中100名 うち新規就労32名）【215名 うち就労中101名】

②相談支援件数

<就労支援>

- ・ 職業相談 延1,247件【延1,246件】
- ・ 就職準備支援 延 917件【延306件】
- ・ 職場開拓件数 延 85件【延107件】
- ・ 職場実習 延 9件【延28件】
- ・ 職場定着支援 延1,507件【延1,639件】
- ・ 離職支援 延 17件【延20件】
- ・ 中間的就労 延 1件【延0件】

<生活支援>

- ・ 日常生活支援 延 287件【延248件】
- ・ 安心して職業生活を続けられるための支援 延 220件【延99件】
- ・ 豊かな社会生活を築く為の支援 延 478件【延197件】
- ・ 将来設計相談 延 2件【延1件】

<訓練等実績>

- ・ 委託訓練 延 1件【延0件】
- ・ 職場実習 延 4件【延7件】

<職場体験実習>

- ・ 狛江市役所職場体験実習
- 第1回 0日間（実習生0名）
- 【第1回 0日間（実習生0名）】
- 第2回 10/4～10/8 5日間（実習生2名）
- 【第2回 11/4～11/6、11/11～11/13 6日間（実習生2名）】
- 第3回 0日間（実習生0名）
- 【第3回 0日間（実習生0名）】

サービス事業課障がい支援係

障がい者就労支援センター サポート ※市委託

- ③関係機関情報交換会 2回【2回】
 障がい者就労支援情報交換会
 (参加機関) ひかり作業所、こまえ工房、ワークイン・メイ、パサパ、ワークひなた
 狛江市福祉保健部高齢障がい課、ハローワーク府中
- ④関係機関会議等
- 東京都障害者就労支援関係機関意見交換会 1回【1回】
 - 多摩地域就労支援事業実施団体連絡会議 3回【1回】
 - 障害者雇用連絡会議 0回【2回】
 - 精神障害者就労支援定着連絡会 2回【1回】
 - 多摩就労支援ネットワーク連絡会議 3回【令和3年度新規】
 - TALANT連絡会議 1回【令和3年度新規】
- ⑤講演会・セミナー
- <ミニ講演会>
- 就労促進ミニ講演会「就労と生活設計のためのアドバイス(10/9)」参加者11名【8名】
 講師：橋本幸雄氏(社会保険労務士)
 - 就労促進ミニ講演会「ビジネスマナーの基本(10/15)」参加者8名【3名】
 講師：株式会社CQ 山本浩子氏
 - 就労促進ミニ講演会「職場における対人関係とビジネスマナー(10/23)」参加者8名【8名】
 講師：山本良典氏(東京都心身障害者福祉センター職員)
- <障がい者就労理解を促進するための市民向け講演会>
- 障がい者就労促進講演会(11/2)参加者 9名【10名】
 講師：東京グリーンシステムズ株式会社 ジョブコーチ
- <障がい者就労促進講演会>
- 障がい者就労促進講演会(3/8)参加者 10名【0名】
 講師：社会福祉法人にじの会ワークショップハーモニー 就労移行支援担当者
- <就労アカデミー>
- 1回目：生活リズムを整える(7/9) 参加者 3名【延12名】
 - 2回目：就労準備のポイント(7/16) 参加者 0名【延1名】※中止
- ⑥地域開拓促進コーディネート
- 個別相談支援件数
 - ・就労相談 延 94件【延 54件】
 - ・職場開拓件数 延 50件【延 77件】
 - ・登録者の職場定着支援 延 52件【延 96件】
 - 就職希望者、企業の掘り起し
 - ・企業訪問件数 延 45件【延 32件】
 - ・福祉施設訪問件数 延 343件【延306件】
 - ・見学会等への参加 12社【4社】

サービス事業課障がい支援係

特定相談支援事業

○利用契約者人数（3月末）	特定相談	148名【147名】
	児童計画相談	52名【49名】
○サービス等利用計画作成件数	特定相談	120件【108件】
	児童計画相談	50件【66件】
○モニタリング件数	特定相談	446件【345件】
	児童計画相談	149件【164件】
○相談支援事業所連絡会への参加		24回【14回】

福祉有償運送事業 ※令和3年度新規

○利用登録者数	41名【令和3年度新規】
○運行回数	延 756件 ※うち児童送迎は延329件 【令和3年度新規】

サービス事業課早期療育係

あいとぴあ子ども発達教室“ぱる”

- ①早期療育訓練事業
 - 市民・関係機関からの発達相談及び情報共有 延211件【延182件】
- ②児童発達支援事業
 - 開所日数 244日【170日】 ※集団・プール療育実施回数 315回【269回】
※グループの内訳は以下の通り
月、火、水、木（午前・午後）、金プール（A・Bグループ）
 - 通所児童 定員 80名（10名×8グループ） 80名【80名】
実利用人数 49名【54名】
通所人数（集団・プール療育）延1,219名【延1,299名】
 - 新規利用開始児童 15名【12名】
 - 個別指導（個別療育） 延270名【延217名】
内訳）言語療法116名【91名】 理学療法51名【53名】 作業療法103名【73名】
 - ペアレント・トレーニング 31回延110名【24回 延118名】
 - お母さんグループ（保育士・臨床心理士によるグループワーク）3回 延9名【0回 延0名】
 - 心理相談 25名【7名】※軽易な相談や保護者見学時の説明等は集計せず。
 - 保護者相談（電話相談含） 延85名 【延36名】
 - 保護者会 0回 【8回】
 - 個人面談 78回 【77回】
 - 行事（遠足） 1回 参加者18名【0回 参加者0名】
 - 家族参観日 27回 50名【12回 27名】※「参観週間」として3週間に渡って実施した。
 - 専門職連携会議 3回 【3回】
 - 全体カンファレンス 2回 【2回】
 - 給食会議 9回 【12回】
 - 見学受入れ（延べ） 利用希望者 29名【13名】、利用児保護者0名【3名】
関係機関 2名【3名】
 - 関係機関実習生受入れ 延4名 【延4名】
 - 卒業面談 12名【16名】
 - 終了面談 6名【12名】
 - 初回面談 15回【11回】
 - 幼稚園訪問 0回【2回】

サービス事業課早期療育係

あいとぴあ子ども発達教室 “ぱる”

- 保育園訪問 1回【2回】
内訳：めぐみの森(1回)
- プール指導 4回【3回】
- スタッフ研修 2回【3回】
- 就学支援会議 1回【0回】
- 関係機関会議 7回【7回】
- パパぱる 2回 参加者8名【令和3年度新規】
※父親と通所児がペアで来所して、それぞれがペアレント・トレーニングの概要説明（父親）と療育プログラム（通所児）を受ける取組みを8月の土曜日に実施した。
- 個別療育プログラム 34名【令和3年度新規】
※8月、9月、3月の個人面談時に希望者に実施した。保護者の面談中、一緒に来た通所児に対して、別室で個別に保育士が療育プログラムを実施した。
- 先輩お母さんの話 9名【令和3年度新規】
※年長児の保護者を対象に、ぱる卒業児の保護者から市内小学校の通級・固定級に通っている感想やアドバイスを聞く機会を設けた。

サービス事業課知的障がい者通所訓練係

生活介護事業 麦の穂

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| ○開所日数 | 222日 | 【228日】 |
| ○利用者 | 15名 延3,044名 | 【15名 延3,042名】 |
| ○保護者会 | 6回 | 【0回】 |
| ○個別面談 | 6日間 | 【6日間】 |
| ○行事 | 3回 | 【0回】 |
| ○ケース会議 | 10回 | 【9回】 |
| ○利用者定期健康診断 | 1回 | 【0回】 |
| ○嘱託医相談 | 9回 | 【7回】 |
| ○体育館活動 | 7回 | 【6回】 |
| ○3B体操 | 2回 | 【3回】 |
| ○資源物回収活動 | 19回 | 【18回】 |
| ○プール活動 | 23回 | 【16回】 |
| ○宅配弁当活動 | 8回 | 【11回】 |
| ○喫茶活動 | 20回 | 【30回】 |
| ○音楽会 | 2回 | 【令和3年度新規】 |
| ○おやつ会 | 12回 | 【令和3年度新規】 |
| ○ビデオ鑑賞 | 32回 | 【14回】 |
| ○自主製品販売 | 2回 | 【令和3年度新規】 |
| ○自主製品公民館展示 | 2週間 | 【2週間】 |
| ○障がい者週間自主製品展示販売 | 2日間 | 【2日間】 |
| ○消防避難訓練 | 2回 | 【2回】 |

サービス事業課知的障がい者通所訓練係

生活介護事業 麦の穂

○専門指導		
作業療法	2回	【1回】
音楽療法	4回	【2回】
織り	3回	【2回】
造形	4回	【2回】
スーパービジョン	4回	【3回】
理学療法	3回	【令和3年度新規】
○歯磨き指導	6回	【0回】
○歯科相談	2回	【2回】
○新型コロナウイルスワクチン接種	3回	【令和3年度新規】
○インフルエンザウイルスワクチン接種	1回	【1回】
○実習生受入れ	1名	【1名】
○ボランティア活動受入		
織りボランティア	5回延22名	【5回延25名】
○見学者	2名	【2名】
○職員研修会		
自閉症スペクトラム障害専門研修会	6名	【1名】
強度行動障害職員養成研修会基礎編	1名	【1名】
強度行動障害職員養成研修会実践編	0名	【1名】
てんかん講座研修会	1名	【令和3年度新規】
サービス管理責任者研修会	1名	【0名】

プロジェクトチーム等

小地域福祉活動の推進

- ①岩戸地域ネットワーク活動の支援
 - 岩戸地域福祉推進委員会 全体会 3回【2回】
 - お茶のみ会 7回 参加者65名【0回 延0名】

- ②猪方駒井地域ネットワーク活動の支援
 - 猪方駒井地域福祉推進委員会 全体会 1回【1回】
 - おしゃべりサロン 3回 参加者延95名【0回 延0名】

- ③野川地域ネットワーク活動の支援
 - 野川地域福祉推進委員会会議 12回 【10回】
 - サロン野川 4回 参加者延100名【0回 延0名】

- ④和泉地域ネットワーク活動の推進
 - “サロンいずみ”をささえる会への支援（中和泉5丁目）
 - ・サロンいずみ 1回 参加者延4名【0回 延0名】
 - いずみサロン運営委員会への支援（西和泉2丁目）
 - ・いずみサロン 1回 参加者延25名【0回 延0名】
 - ・運営委員会 2回 【0回】
 - ふれあい西の和泉への支援（西和泉1丁目）
 - ・ふれあい西の和泉 2回 参加者延46名【0回 延0名】

災害時の対応

災害時初動対応訓練実施（11/28）

訓練内容 法人本部における初動対応（安否確認・参集、被害状況確認、避難所派遣職員への指示等、情報収集・発信、災害対策本部の設置等）

参加役職員 10名



初動対応訓練の様子

プロジェクトチーム等

広報活動

- ①広報紙「社協だより」の発行
 - 新聞折込3回（No187、189、190） 1号当たりの発行部数 25,000部【4回 25,000部】
 - 全戸配布1回（No.188） 1号当たりの発行部数 45,000部【0回】

- ②マスコットキャラクター出演
 - ・歳末たすけあい運動街頭募金（12/24）

課・係	事業内容	【 】は令和2年度実績
その他		
	粕江市社会福祉法人連絡会への参画 市内6つの社会福祉法人が加盟（平成29年度発足） ○福祉なんでも相談 福祉に関する相談窓口「福祉なんでも相談」を加盟6法人で開設。 ○フードドライブ事業への協力 加盟法人（1/11～1/21）で回収した食品74.4kgをフードバンク粕江に寄贈した。	

